

魚沼民商だより

2022年
5月 9日
第2297号

発行 魚沼民主商工会
新潟県魚沼市板木
電話 025 (792) 3064
e-mail:uminsyo@rose.ocn.ne.jp

事業復活支援金 個人50万 法人100万円

注意：個人（同月比売上高5割以上減少で上限50万円給付金）。法人（年間売上高1億円以下の最大で100万円給付金）

「事前確認」の期限が5月26日迄となっています。事前確認が済まされていないと期限内に同支援金を申請することが出来ません。今から準備等を進めていかなど間に合いません。

【4月開催】 大和支部

日時 4月30日（土）

会場 大崎農業会館

【5月開催】 小出・広神・堀之内・守門 ・入広瀬支部

日時 5月 6日（金）

会場 民商事務所

大和支部

日時 5月 9日（月）

会場 大崎農業会館

湯沢支部

午前の部

日時 5月 11日（水）

会場 ロッヂサンモリツツ

午後の部

日時 5月 11日（水）

会場 佐藤守正宅



若手の上村さんの参加で、議論活発化！

建設業者部会を開き今後の方針を話し合いました

4月24日、魚沼民商・建設業者部会は南魚沼市内にて、2月に開催した「丸のこ等取扱い作業従事者安全衛生教育講習会」の反省会を兼ねた同部会を開きました。

この日、北海道・知床半島沖の観光船事故が全国ニュースとなり大きな大惨事が流れました。参加者一同、このニュースを踏まえ、改めて常日頃から安全対策の意識を高め、地域・業界にアンテナを張ることの大切さを共有しました。また「フルハ

ーネス型安全帯使用作業特別教育」、「丸のこ等取扱い作業従事者教育」を再度開催の声や、2007年迄の建築施工で石綿含有建築材料が多く使われ、その解体等の作業に従事する法律が来年10月から強化される話しも出されました。

今後、同部会は年2回開催（春・秋）で講習会等を取り組む方針を打ち出しました。

消費税インボイス中止を参院選の争点に押し上げよう

夏の参院選（予定・告示6月約2カ月後）と迫ってきます。連日「事業復活支援金」相談会で日々しているのは、「このコロナ禍で物価が高騰中、すべてのモノが上がる中、国民の所得とコメだけが下がっている。日本の構造そのものがおかしい。政府は消費税減税策に思い切って踏み込むべきだよ」の声が広がりつつあります。

また消費税インボイス制度につしても自営業者にとつて死活問題です。私たち民商は「消費

税インボイス中止」と参院選の大きな争点に押し出すために、

様々な集まり等で创意工夫しながら参院選に参加してきます。

私たち民商は県知事選挙についても、「新型コロナ禍と物価高騰の影響から県内の中小・小規模業者の経営を守るためにの政策要望」を掲げて、同選挙に参加しています。

5月は民商の年度末です 会費は十五日集金を 宜しくお願い致します

2面は事業復活支援金の給付対象算定シートとなっています